

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	保育内容の総合的指導法「身体表現」 Ⅲ-6-2-2 ⑤-2		教員氏名	玉川さやか		
学年	1年		開講学期	後期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	身体表現教育者	22年	
テーマ	幼児のノンバーバルな身体表現を受け取るための、保育者自身の感覚とまなざしを育てる					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○ ○ ○	
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				○
授業の概要	本授業では、言語表現が未発達な幼児が示す身体的・感覚的な表現を、保育者がどのように受け取り、支え、広げていくことができるのかを、体験的な学びを通して探究する。 身体を使った表現あそびを実際に体験しながら、感覚・動き・他者・空間との関係性に気づき、幼児理解に必要な保育者自身の「見る力」「感じ取る力」を養う。 学期後半では、学生自身が幼児を想定した表現あそびを構想・実践し、そのプロセスを振り返ることで、保育内容としての身体表現を総合的に理解する。					
授業の 到達目標	幼児の身体的・非言語的な表現の特徴を説明することができる					
	表現あそびを体験・観察し、幼児の姿を具体的に捉えることができる					
	他者と協働しながら、幼児を想定した身体表現活動に主体的に取り組むことができる					
テキスト	使用しない(授業内で資料を配布する)					
参考書	『子どものからだとことば』汐見稔幸／岩波書店 『感じる・考える・表現する 子どもの身体表現』松本千代栄／ひかりのくに 『保育者の専門性とは何か』大豆生田啓友／ミネルヴァ書房 『子ども理解と保育のまなざし』秋田喜代美／ひとなる書房					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
	その他: プレゼンテーションごとに受講者全員とディスカッションを行い、その内容を共有する				○	
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・ 筆記試験	0	実施しない			
	授業内課題 ・発表等	30	振り返りシート			
	参加度・ 学習態度等	40	体験・対話・協働への積極性			
	その他	30	表現あそびの構想・実践・振り返り			
再試験	行う	行なわない 場合の 理由				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	ガイダンス: 身体表現とは何か 保育における身体表現の位置づけと本授業の進め方について確認し、身体表現を通して幼児を理解する視点を共有する。	
	授業外学習	これまでに見たことのある幼児の表現的な遊びや身体の動きを思い出し、印象に残っている場面を文章で整理する	60分
第2回	テーマ 内容	身体と感覚①: 自分の身体に気づく 身体感覚に焦点を当てたワークを通して、自身の身体や感覚の特徴に気づく体験を行う。	
	授業外学習	授業で行ったワークを振り返り、どのような感覚に気づいたかを言葉で整理する	60分
第3回	テーマ 内容	身体と感覚②: 他者とひらかれる感覚 ペアワークを通して、他者の存在によって自身の感覚や動きがどのように変化するかを体験的に学ぶ。	
	授業外学習	ペアワークで感じた戸惑いや安心、相手との距離や関係性の変化について振り返り、幼児の姿と結びつけて整理する	60分
第4回	テーマ 内容	モノと身体: 素材と表現あそび 身近な素材を用いた身体表現を体験し、モノが身体の動きや表現をどのように引き出すかを探る。	
	授業外学習	授業で使用した素材と身体との関係について振り返り、幼児が素材と関わる姿を想像して整理する	60分
第5回	テーマ 内容	他者・空間・環境と身体 空間や他者との関係性に着目したワークを通して、表現が生まれる条件について体験的に学ぶ。	
	授業外学習	空間や他者の存在が自身の動きや感覚に与えた影響を振り返り、気づいた点を文章で整理する	60分
第6回	テーマ 内容	幼児の身体表現を観る視点 幼児の身体表現の事例を通して、言葉にならない表現を読み取る視点について学ぶ。	
	授業外学習	事例を見て印象に残った幼児の動きや関わりを取り上げ、その意味について考えをまとめる	60分
第7回	テーマ 内容	表現あそびの構想①: テーマとねらい 幼児を想定した身体表現・表現あそびについて、テーマやねらいをグループで検討する。	
	授業外学習	グループで考えた表現あそびのねらいを文章で整理し、幼児にどのような経験を届けたいかを明確にする	60分
第8回	テーマ 内容	表現あそびの構想②: 流れと場づくり 活動の流れや環境設定を具体化し、表現あそびの構成について検討する。	
	授業外学習	授業で検討した構成案をもとに、活動の流れと場づくりの工夫について整理する	60分
第9回	テーマ 内容	表現あそびの準備と試行 ミニ実践を行いながら、表現あそびの内容や進め方を調整する。	
	授業外学習	試行を通して見えてきた課題や改善点を振り返り、文章で整理する	60分

第10回	テーマ 内容	学生による表現あそび実践① 学生が構想した表現あそびを実践し、体験と観察を通して学ぶ。	
	授業外学習	実践を振り返り、幼児役・保育者役それぞれの立場で気づいた点を整理する	60分
第11回	テーマ 内容	学生による表現あそび実践② 異なるグループの実践を体験・観察し、表現あそびの多様性に気づく。	
	授業外学習	複数の実践を比較し、共通点や違いについて振り返りをまとめる	60分
第12回	テーマ 内容	学生による表現あそび実践③ これまでの学びを踏まえた実践を行い、表現あそびの可能性を探る。	
	授業外学習	一連の実践全体を振り返り、自身の学びや変化について整理する	60分
第13回	テーマ 内容	全体の振り返りと学びの統合 身体表現を通して得た学びを振り返り、幼児理解と保育者の役割について整理する。	
	授業外学習	学期全体の学びを振り返り、身体表現を保育の中でどのように活かしたいかをまとめる	60分

課題に対するフィードバックの方法

課題提出物、及びプレゼンテーションに対しては、その内容についてディスカッションを行い、評価される点、課題と思われる点について可視化する。